熱中症対策に関するインターネットアンケート調査結果

１　調査の概要

２　回答者について

３　調査結果

令和８年１１月
鳥取市健康こども部　鳥取市保健所　保健総務課

１　調査の概要

（1）調査の目的　　近年、夏の暑さが厳しさを増し、熱中症対策の重要性が高まっています。鳥取市では、熱中症による健康被害を防ぐため、さまざまな対策に取り組んでいます。今後の熱中症対策をより効果的に進めるため、市民の皆さまの熱中症対策に関する意識や実践状況、クールシェルターの認知度などについてお伺いするアンケートを実施しました。

（2）調査対象　　令和８年度鳥取市広報モニター　１０１人

（3）調査方法　　インターネット上に設置したアンケートに回答

（4）調査期間　　令和８年１０月１５日（木）～１０月２１日（水）

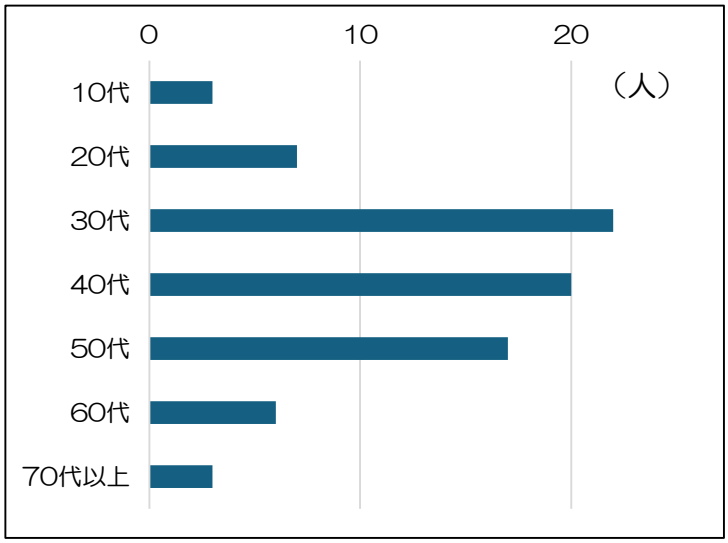
（5）回答者数　　７８人（回答率　７７．２％）

2　回答者について

本調査の割合は、調査対象者全体ではなく「本アンケートに対する有効回答者数」を母数として算出しています。

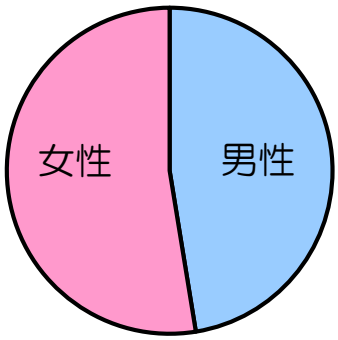
○年齢

	回答者数	回答者割合
10代	3	3.8%
20代	7	9.0%
30代	22	28.2%
40代	20	25.6%
50代	17	21.8%
60代	6	7.7%
70代以上	3	3.8%
合計	78	100.0%



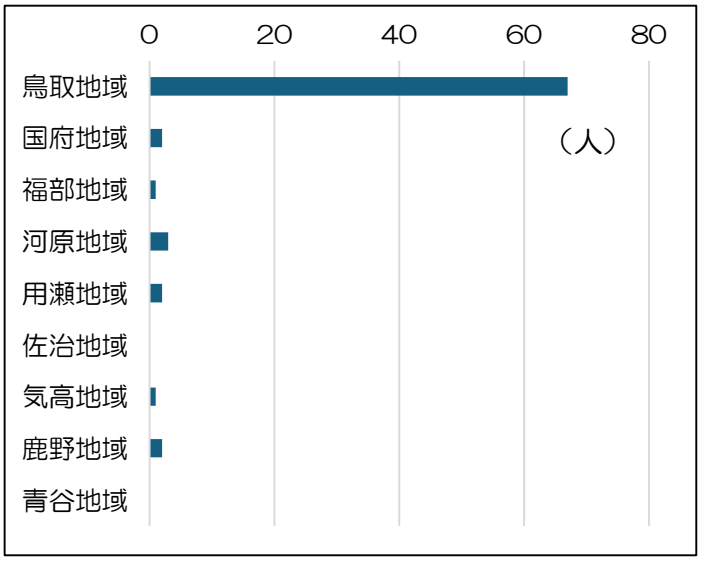
○性別

	回答者数	回答者割合
男性	37	47.4%
女性	41	52.6%
未回答	0	0.0%
合計	78	100.0%



○居住地

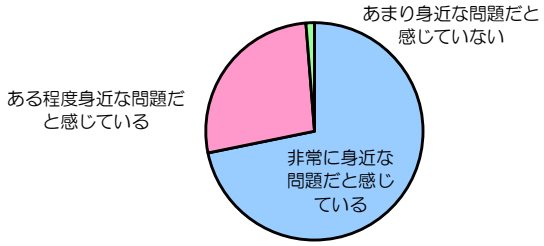
	回答者数	回答者割合
鳥取地域	67	85.9%
国府地域	2	2.6%
福部地域	1	1.3%
河原地域	3	3.8%
用瀬地域	2	2.6%
佐治地域	0	0.0%
気高地域	1	1.3%
鹿野地域	2	2.6%
青谷地域	0	0.0%
合計	78	100.0%



３　調査結果

(1)　熱中症対策への関心について

近年、夏の暑さが厳しくなり、熱中症による健康被害が全国的な課題となっています。あなたは、熱中症を身近な問題だと感じていますか。

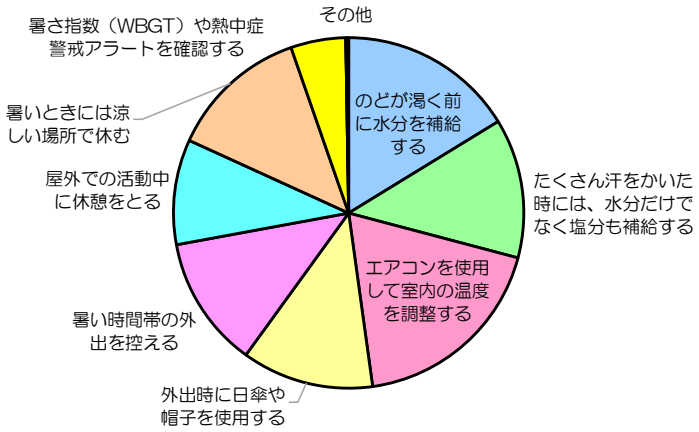


回答	
非常に身近な問題だと感じている	56
ある程度身近な問題だと感じている	21
あまり身近な問題だと感じていない	1
まったく身近な問題だと感じていない	0
合計	78

(2)　熱中症対策の実践状況について

熱中症を予防するためには、暑さを避け、水分をこまめに補給するなど、一人ひとりが状況に応じて対策を行うことが大切です。

あなたが、暑い時期に日頃から行っている熱中症対策はどれですか。（複数回答可）

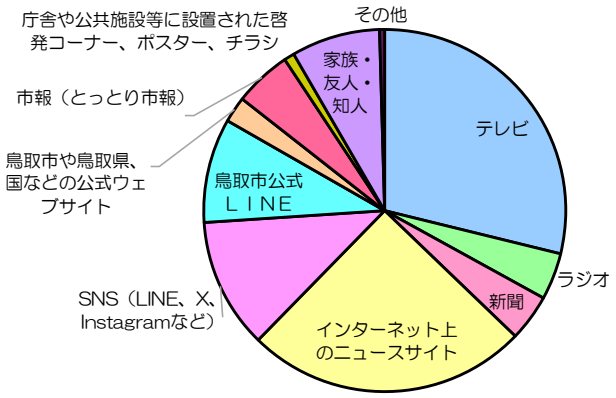


回答	
のどが渇く前に水分を補給する	67
たくさん汗をかいた時には、水分だけでなく塩分も補給する	53
エアコンを使用して室内の温度を調整する	77
外出時に日傘や帽子を使用する	50
暑い時間帯の外出を控える	50
屋外での活動中に休憩をとる	40
暑いときには涼しい場所で休む	53
暑さ指数（WBGT）や熱中症警戒アラートを確認する	21
特に行っていない	0
その他	1
合計	412

その他：塩分チャージをする

(3)　熱中症に関する情報入手について（1）

あなたは、熱中症対策に関する情報を、主にどこから得ていますか。（複数回答可）

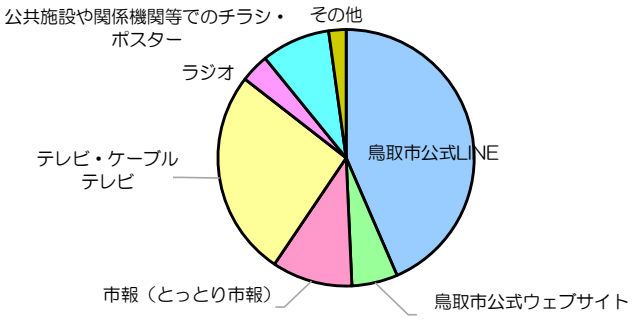


回答	
テレビ	62
ラジオ	9
新聞	9
インターネット上のニュースサイト	54
SNS（LINE、X、Instagramなど）	25
鳥取市公式ＬＩＮＥ	20
鳥取市や鳥取県、国などの公式ウェブサイト	5
市報（とっとり市報）	11
庁舎や公共施設等に設置された啓発コーナー、ポスター、チラシ	2
家族・友人・知人	17
その他	1
合計	215

その他：保育園からのおしらせ

(4)　熱中症に関する情報入手について（2）

鳥取市から発信する熱中症対策の情報について、あなたが受け取りやすいと思う方法はどれですか。（複数回答可）

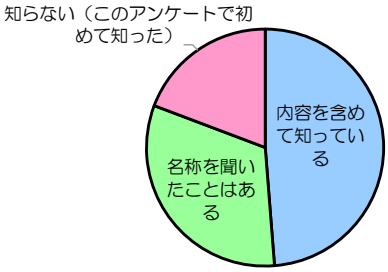


回答	
鳥取市公式LINE	60
鳥取市公式ウェブサイト	8
市報（とっとり市報）	14
テレビ・ケーブルテレビ	36
ラジオ	5
公共施設や関係機関等でのチラシ・ポスター	12
その他	3
合計	138

その他：　ネットニュース、SNS

(5)　クールシェルターの取組について

鳥取市では、暑さをしのぐための場所として、市内の公共施設や民間施設を「クールシェルター」として開設しています。
あなたは、鳥取市の「クールシェルター」を知っていますか。

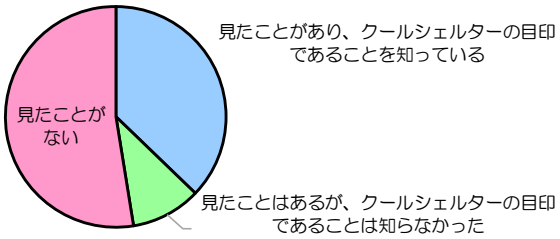


回答	
内容を含めて知っている	38
名称を聞いたことはある	25
知らない（このアンケートで初めて知った）	15
合計	78

(6)　クールシェルターのマークについて

鳥取市のクールシェルターには、暑さをしのぐことができる場所の目印として、ペンギンのデザインを使用しています。
あなたは、このペンギンのデザインを見たことがありますか。

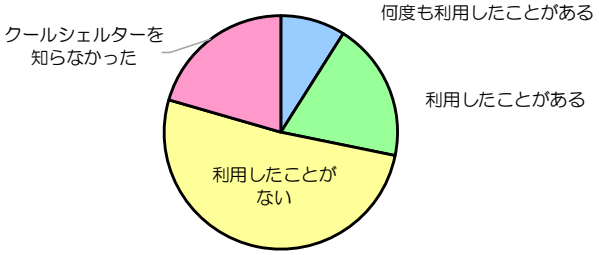




回答	
見たことがあり、クールシェルターの目印であることを知っている	29
見たことはあるが、クールシェルターの目印であることは知らなかった	8
見たことがない	41
合計	78

(7)　クールシェルターの利用状況について（1）

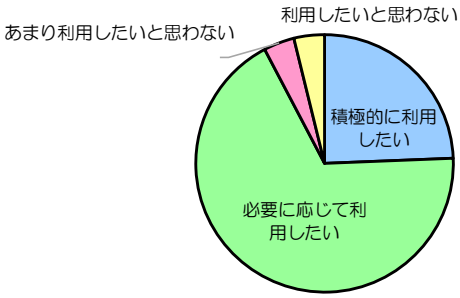
鳥取市のクールシェルターを利用したことがありますか。



回答	
何度も利用したことがある	7
利用したことがある	15
利用したことがない	40
クールシェルターを知らなかった	16
合計	78

(8)　クールシェルターの利用状況について（2）

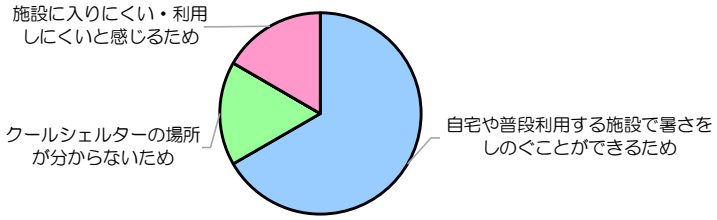
今後、暑さをしのぐためにクールシェルターを利用したいと思いますか。



回答	
積極的に利用したい	19
必要に応じて利用したい	53
あまり利用したいと思わない	3
利用したいと思わない	3
合計	78

(9)　クールシェルターの利用状況について（3）

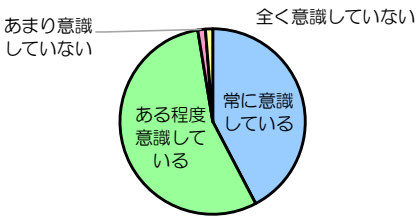
今後、より利用しやすいクールシェルターの取組を進めるため、クールシェルターを「あまり利用したいと思わない」「利用したいと思わない」と回答された理由について、差し支えない範囲でお聞かせください。



回答	
自宅や普段利用する施設で暑さをしのぐことができるため	4
クールシェルターの場所が分からないため	1
利用方法や利用できる時間が分からないため	0
施設に入りにくい・利用しにくいと感じるため	1
その他（自由記載）	0
合計	6

(10)　「暑いときに涼しい場所へ移動する」という行動について

自宅にいるときや外出中など、暑さによって体調への影響が心配な場合、あなたは涼しい場所に移動して休むことを意識していますか。



回答	
常に意識している	33
ある程度意識している	43
あまり意識していない	1
全く意識していない	1
合計	78

（11） 今後の熱中症対策について

今後、鳥取市が熱中症対策を進めるにあたり、どのような取組が効果的だと思いますか。
また、行ってほしい取組があればご記入ください。（自由記載）

喉が渇く前に飲むと言われてもなかなかピンとこないので 何時間おきの水分補給、 何時間おきに休憩など数字を使うとわかりやすいかもと思う
なかなかアイデアがないですが、朝夕に、打ち水をしたり、やはりゴーヤカーテンなども、よいと思います。しかし、なかなかアイデアなどが、暑さにおいつかないですね。首に、まく、ひんやりマフラーをしたり、こまめに、手やうでをあらったり、シャワーをあびることでしょうか。
夏の図書館の室内温度をもう少し下げてほしい。
特になし
暑い時期は子ども達が夏休みで毎日一緒に外出します。 クールシェルターもよく利用し水分を取らせるタイミングにしています。 近所にある文化センターはウォーターサーバーも設置してあり非常に助かっていました。ありがとうございました。 駅前や市役所等に夏の期間だけでもウォーターサーバーがあると水分補給の機会も増えていいなと思います。
各家庭ごとにエアコンをフル回転できにくい昨今、命とお金を天秤にかけると命です。クールシェルターの開設は良い事と感じます。ウオーキング中などありがたく利用しました。ただ、暑いからと言ってわざわざ開設場所まで移動はしませんでした。また、公共の場所は土日は空いてない場合もありました。 　それらを考えると、やはり個々に熱中症の怖さの周知と共に、様々な苦労を乗り越えられて来た「このくらい大丈夫」と不確かな自信や、「どうであれやってしまわないといけない」とがんばる事の多い高齢者への地道な声かけが必要と感じます。声掛けのためのボランティア活動も大切かと思います。質問の趣旨とは違う回答になりすみません。
子どもが遊ぶ公園や通学路などの暑さ対策も進め、市民が安心して夏を過ごせる環境づくりに取り組んでほしいです。
バス停留所に日陰のない所があるのであった方が良いと思う。 また、座るところ、ミストが出るようになればいいと思う。 クールシェルターでお水が飲める所を増やしてほしい。 クールシェルターがある場所（お店）の一覧表等あればいいと思う。 費用がかかることばかりですが…
鳥取市は夏に高温になり、湿度も高くなる。暑すぎるから、外出を控えようではなく、暑くても安心して出掛けられる環境やインフラ整備が必要。農業もスポーツも地域の暮らしや活力に関わるので、熱中症対策を単なる健康施策ではなく、地域インフラへの投資、地域活性化策として考えるべき。 例えば、屋根付きスポーツ施設 サッカー、フットサル、テニス、子どもの運動などに使える、屋根付きの運動スペースを整備するなど。

エアコンをつければ良いのは、理解しているので電気代の補助、エアコン購入の補助なども視野に入れてほしい。 在宅時間が長い高齢者、長期休みを抱える家庭は跳ね上がる光熱費にヒヤヒヤする。
高齢者への注意喚起
ただ情報を発信して終わりではなく、リアルタイムで変化する状況をリアルタイムで提供できるよう、プッシュ通知などを使って効果的に市民へ届ける方法を多く取り入れて欲しい。
LINEやSNSを使った熱中症警戒アラートの発信や熱中症対策の情報発信。 クールシェルターを利用するきっかけになるイベントやコミュニティの企画。
駅を涼しくしてほしい
特にない。今までの取り組みを継続してください。
所どころにミストが出ていたらいいと思います。
ミストシャワーがあるといいと思った。またコンビニエンスストア等の空調の効いた立ち寄りやすい店舗が地域によっては少ないので増えるといいと感じた。高齢者には冷房の電気代が昔ほど高価ではなく、使用するとメリットがある事、多くの高齢者が冷房を使っている等周知してほしいと感じました。
クールシェルターがあること自体知らなかった。 周知を促して、より多くの人たちが活用できるようなると良いと思う。
公的機関の解放および体育館にエアコンの設置
駅周辺の木陰に椅子等を設置していただきたい
クールシェルターの数をもっと増やしてほしいのと、水分補給や塩分補給が気軽にできるような設備も整えてほしい。 例えば、場所の提供だけでなく座って休憩できるような居心地のいい空間を整えたり、熱中症飴などを施設利用の際に配布するなど。
クールスポットの周知。
若い人は情報を迅速に取得できて対策に繋げられるけど高齢者は情報が得られなかったり、得ていても過去の涼しかった頃と同様の生活をしてしまうため熱中症による死亡率が高いように思う。高齢者に対する熱中症対策を強化する必要があるように思う。
特に高齢者・子供に対しての対策を大々的に発信した方がいいと感じる。
学校の体育館へのエアコン設置を希望します。
お年寄りに意識してもらえるようにラジオ、テレビのCMやニュースでバンバン放送していただけると有り難いです。
家から出て移動するのにも熱中症の危険があるので、電気代の補填や補助金、エアコン設置の補助金をして欲しい。 物価高の今では、エアコンなどの冷房設備を電気代が高いからと我慢する人が増えている印象です。
エアコン設置や二重窓にするためなどの補助金。電気代の補助。

ミストシャワー 塩分チャージなどの飴の配布 クールシェルターの周知
色々な媒体での啓蒙活動
高齢者や持病等がある方には、対策をしないとこうなる、こんな重篤なことになることを周知することが必要です。特に年寄りは暑いのが感じないことが多く水分補給含め、しつこく徹底を図ることが必要。 若い世代も学校や職場でしつこいぐらい周知や対策を行うことが必要である。 さらに学校での体育や部活では体育館にエアコンが無いためエアコン整備が必要です。防災の避難所なっていればなおさらです。
鳥取市主体で行政を選定し、エアコンのクリーニング・点検を格安で行ってくれるようなサービスがほしいです。 夏祭りを涼しくなるような秋頃にずらして実施してほしい。
駅とか、観光地場所に ミスト的なものが欲しいですね
せっかくいい取り組みなのでクールシェルターの周知を積極的してほしいと感じました。 私の周りの方も「クールシェルター」の名前は知っていても、利用していいのか？どこがその場所なのか？ という感じです クールシェルターマップがあると、子連れの方やお年寄り、観光客の方も利用しやすく、ステッカーの周知にもつながるように思います。 「暑いからクールシェルターに寄ろうよ」が当たり前になるといいですね
特になし
クールシェルターの増設と、ある場所を知らせる掲示物や配信の増回。やはりまだまだ、知られていないと思います。
毎日が暑くて、その日が特別暑い、という感覚がなくなります 市内でアナウンス放送を耳にしますが、（熱中症警戒警報のような）流れますが、慣れは恐ろしいもので、あってもなくても、効果を感じません　夏は、暑くても涼しくても、毎日危険性を意識するしかないと思っている
この夏、子育て中だったので、支援センターやクールシェルターを活用させていただきました。屋内は非常に涼しく快適で、ありがたかったです。ただ、時間が経過すればするほど、屋外に停めていた車の車内温度が上がってしまいます。そして、子供をチャイルドシートに乗せた際に、熱中症にならないかが心配でした。可能であれば、屋外の駐車場にも屋根付きの駐車スペースがあれば、少しは車内温度の上昇も和らぐかなと思います。
水遊びできる場所や、ミストコーナーとかあるといい
クールシェルターの場所の周知がもう少しあってもいいかも。 わたしのまわりではインスタを使っている人が圧倒的に多いです。 市のホームページなどは、必要なことがない限りなかなかみる機会はないので、、。

クールシェルターの拡大 給水場所の拡大(公共施設の給水機の設置)
高齢者はエアコンをつけないので日中涼めてコミュニティになるような無料の憩いの場を色々な地域に設置する。
若い世代より、高齢者はエアコンの風が苦手な人が多いイメージがあります。エアコンを使わない場合の熱中症対策の周知を各地域単位で周知が効果的ではないかと思います。田舎ほど口コミで広まったりします。また、買い物や銀行どの事業所に行く際に、徒歩で移動して熱中症になるケースも聞いたことがあります。各事業所に給水場所を設けるように勧奨して実施した事業所に補助を行なってはどうでしょうか。
できる範囲での観光地での水の配布（鳥取砂丘など）、給水機の設置
クールシェルターどこにあるのかまず調べて来年活用しようと思います 逆にこれから寒いのでウォームシェルター的なのがあるのか知りたいです しっかり基準を定めて今日は外に出ない方がいい日みたいなの気温に応じて市が出してほしい LINEとかhpとかで
天気予報でよくある気圧情報の通知のように、ラインでの警戒の通知などでお知らせしてもらえると意識できてよさそうだと思います。
スプリンクラーのようなものを道端にドア感覚で設置することで道路の加熱を防ぎ、温度上昇を抑えることがのぞましい。
事例紹介を含む広報活動